

466 故中央大学学長法学博士男爵奥田義人君追悼文（中央大

学代表者理事岡野敬次郎）

〔「法学新報」第27卷9（312）号 大正6年10月1日〕

維時大正六年八月二十六日中央大学同人清酌庶務羞ノ奠ヲ以テ
 謹ミテ学長奥田義人博士ノ靈柩ノ前ニ伏シテ哀悼ノ辞ヲ奉ル一
 字一涙下リ一句一血流ル善ク文スル能ハス靈庶幾クハ我等無限
 ノ痛恨ヲ諒トセム学長ハ徳ノ人ニシテ識ノ人也清白雪ノ如キ節
 ヲ持シ鉄石ノ心以テ事ヲ断シ責任ノ重キヲ識リテ毀譽褒貶ニ囚
 ハレス博聞彊志幽ヲ闡シ玄ヲ鉤シ窮メスンハ休マス之ヲ学長ノ
 人格ト為ス举世滔滔識アリテ徳足ラス徳アリテ識備ハラス而シ
 テ学長独リ之ヲ兼又寔ニ国家ノ至宝ナリ
 顧ミレハ明治十八年八月我中央大学ハ学長及其同人ニ因リテ創
 立セラレ星霜茲ニ三十有三学長徳高ク識邃ク夙夜勵精循循誨ヘ
 テ倦マス校運鬱トシテ興リ人材彬彬トシテ出ツ昔者仲尼弟子三
 千身六芸ニ通スル者七十有二人史家古ヨリ之ヲ称ス学長ノ業ヲ
 受クル者万ヲ以テ数フ其世ニ立チ道ヲ行フ者豈啻二千百人ニシ

テ止マンヤ学長亦以テ自ラ慰スルニ足ラム
 学長己ヲ持スル謹嚴朋ヲ待ツ寛容人ノ美ヲ成シ人ノ過ヲ言ハス
 同人学長ニ先ンセラレテ頼ルトコロヲ失ヒ門弟子学長ヲ喪フテ
 適従スルトコロニ迷フ大正六年八月二十一日秋風枯楊ヲ吹クノ
 夕学長溘焉トシテ道山ニ帰ス夢耶將真耶嗚呼哀哉然レトモ是レ
 我等同人ノ私事也

之ヲ天下国家ニ觀ル学長ノ死ハ真ニ千載ノ一大恨事タリ学長ノ
 国家ニ貢獻シテ立法ニ行政ニ教育ニ至誠ヲ傾倒シタル功績ハ人
 皆之ヲ仰ク今ヤ戰塵益々漲リ事局拡大国家漸ク將ニ多事ナラン
 トス学長ノ靈腕ニ待ツモノ多シ而シテ若人今何処ニカ在ル惟空
 ク雲ノ白フシテ天ノ蒼キヲ見ル耳嗚呼哀哉

一舟ノ覆ル舟中物トシテ沈マサルハ莫シ学長一朝ノ訃其災ヲ被
 ムルモノ奚ソ独リ我中央大学ノミナランヤ国家ノ不幸亦果シテ如
 何ソヤ宜矣訃之至天下哭シテ慟ス葬ヲ送ルノ日弔旗滿都ニ翻ル
 学長生ヲ享クル五十七年而シテ其三十三年我中央大学ハ実ニ学
 長ノ徳ヲ修メ識ヲ磨キ身ヲ以テ公生涯ニ奉シタル自修室ナリキ
 同人ト俱ニ經綸ヲ論シ門弟子ト共ニ学理ヲ語リタル研究場ナリ
 キ而シテ大学ハ祝融氏ニ襲ハレ学長ハ天ニ奪ハル痛恨何ソ勝ヘ
 ム恭ク靈柩ノ前ニ伏シテ哀悼ノ辞ヲ陳ヘント欲スレハ一字一涙
 下リ一句一血流ル善ク讀ム能ハス靈庶幾クハ我等無限ノ痛恨ヲ
 諒トセム嗚呼哀哉尚饗

大正六年八月二十六日

中央大学代表者
 理事法学博士 岡野敬次郎 和南